

S P T ワークショッ プラボ 2012-13
レクチャ & ゼミナール編



WORK SHOP LAB 2011-12

2012年度 SPTワークショッ プラボ インターン募集!

演劇ワークショップのファシリテーターを目指す方を対象にインターンを募集します。年間を通して、SPTワークショッ プラボ「レクチャ & ゼミナール編」「実践編」への参加のほか、世田谷バブリックシアターが実施するワークショップの見学や劇場スタッフとのミーティングを行いながら、演劇ワークショップと劇場、地域について考え、各々の実践へとつなげることを目指します。

応募締切 2012年6月8日(金)必着。

SPTワークショッ プラボ 2012-13 実践編

実践を通して演劇ワークショップを考える「SPTワークショッ プラボ 実践編」を9月からスタートします!

※詳細は劇場ホームページをご覧ください。

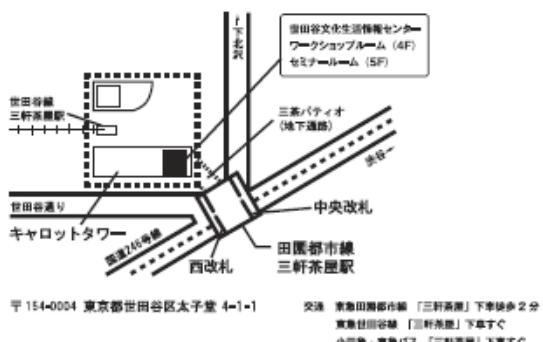
●お申込み・お問合わせ

世田谷バブリックシアター

[tel] 03-5432-1526

[fax] 03-5432-1559

[ホームページ] <http://setagaya-pt.jp/>



世田谷バブリックシアターは開館15周年を迎えます。

[主催] 公益財團法人せたがや文化財團 [企画制作] 世田谷バブリックシアター [後援] 世田谷区

[協賛] **Asahi** **TORAY** 東京ガス

「SPTワークショッ プラボ」は、演劇ワークショップについて考え、実践していくための研究プログラムです。「レクチャ & ゼミナール編」と「実践編」の2本を柱に、座学と実践の相互からアプローチしていきます。

*

世田谷バブリックシアターは、地域の人々をつなぎ、より豊かな市民社会を構築していくことを可能とする非常に有効なツールとして、演劇ワークショップを継続的に実施してきました。このプログラムでは、そうしたこれまでの活動の中で考えてきたこと、発見してきたこと、そして新たに生まれてきた疑問を、皆さんと共に共有しつつ、「演劇ワークショップ」のこれからの方を考えていただきたいと思っています。

*

ファシリテーターとして活動している方、演劇ワークショップをコーディネートしている方、これから始めてみたいと思っている方、じっくりみんなで考えたいと思われる方、どなたでも大歓迎です。是非ご参加ください。

世田谷バブリックシアター

WORK SHOP LAB 2012-13

SPT ワークショップラボ 2012-13

レクチャー

●「演劇ワークショップ：イントロダクション」 レクチャー

「ワークショップ」という言葉を聞いたところで耳にするようになりました。演劇ワークショップも劇場をはじめ、いたるところでおこなわれています。このワークショップについて、なんとなくイメージはあるものの、あらためてそれは何かと聞かれるとよくわからなくなるところがあります。日本語で言うと「作業場」「工房」、フランス語で言うと「アトリエ」であるワークショップが、なぜみんなでコミュニケーションして、学び、創造する活動を意味するようになったのでしょうか?この講座では、この「ワークショップとは何か?」ということについて、歴史的視点、理論的視点、実践的視点から考えていきたいと思います。

2012年7月7日(土)、7月16日(月・祝) いずれも14時~16時

講師：高尾隆（東京学芸大学准教授）

受講料：2,000円（全2回）

●「ファシリテーターとは何か」 レクチャー

演劇ワークショップやワークショップにおける「ファシリテーター」には、どのような役割が期待され、あるいは果たされているのでしょうか。演出することとファシリテートすることの相違や、まちづくりの場で行われているファシリテーターの仕事を見つめながら、改めて「ファシリテーター」の役割を定義していくきっかけにしたいと思います。

Vol.1 演出とファシリテーション

2012年9月17日(月・祝) 14時~17時

ゲスト：阿部初美（演出家）

吉田小夏（青☆組主宰）

柏木隆（NPO法人演劇百貨店代表／世田谷バブリックシアター契約ファシリテーター）

Vol.2 まちづくりとファシリテーション

2012年10月8日(月・祝) 14時~17時

ゲスト：齋藤啓子（武藏野美術大学教授）

横たか（合同会社横代表／二子玉川商店街理事）

山野真悟（NPO法人資金町エアマネジメントセンター事務局長）

受講料：各回1,000円

●「公立文化施設のコミュニティ・プログラム」 レクチャー

美術館、科学館、文学館、メディアセンター、図書館、劇場など、ひろく文化施設と分類される施設では、それぞれ、さまざまな形で施設が地域のハブ／地域のメディアになるための活動を行っています。コミュニティ・プログラム、アウトドア、教育普及事業などと称されるこれらの活動について、今回は、異なるジャンルにおける活動の比較検討を通して、その違いや共通点について考えてみたいと思います。

Vol.1 目的・対象・方法

2012年11月11日(日) 13時~16時

ゲスト：会田大也（山口情報芸術センター）

郷慶典（東京都現代美術館）

作田知樹（文化経営研究者）

多田淳之介（埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ）

司会：野村政之（こまばアゴラ劇場制作）

Vol.2 地域と子ども

2012年11月11日(日) 18時~21時

ゲスト：氏原茂将（メディアアセブン）

尾崎秀南（世田谷文学館）

柴幸男（演出家）

中野詩（水戸芸術館現代美術センター）

司会：野村政之（こまばアゴラ劇場制作）

受講料：各回1,000円

●「実践の多様性一事例紹介」

様々な場で実践されているワークショップについて考えていきます。今回は、「サイコドラマ」「構成的グループエンカウンター」「シティズンシップ教育」「企業研修」に注目し、これらの多様な実践の内容を知ることを目指します。

Vol.1 自己理解のためのサイコドラマ

—その理論と実際

2012年11月8日(木) 19時~21時

講師：高良聖（明治大学教授／臨床心理士）

Vol.2 構成的グループエンカウンター

—ふれあいと自他発見

2012年11月28日(水) 19時~21時

講師：庵嶋真弓（墨子市教育研究所所長／博士（カウンセリング心理学）／認定カウンセラー）

Vol.3 社会を変える教育

—シティズンシップ教育と社会的課題解決の教育モデル

2012年12月18日(火) 19時~21時

講師：大久保正弘（埼玉大学講師／シティズンシップ教育推進ネット／株式会社キーステージ21）

Vol.4 企業におけるワークショップ実践

2013年1月24日(木) 19時~21時

講師：中原淳（東京大学准教授）

受講料：各回1,000円

●「文献から考えるゼミナール：演劇ワークショップの「やりかた」」 ゼミナール

演劇ワークショップは実践することから全てが始まります。しかし、実践だけではなく、実践しようとした目的・内容を対象化し、振り返ることも必要です。このゼミナールでは演劇ワークショップに関するさまざまな文献を事前に読み、参加者間でディスカッションを行います。今回は、「文献に書かれた演劇ワークショップの「やりかた」」を読むことで、演劇ワークショップについて考えてていきます。※扱う文献については、申し込まれた方に後日お知らせします。

Vol.1 2012年10月24日(水) 19時~21時

進行役：熊谷保宏（日本大学教授）

Vol.2 2012年11月13日(火) 19時~21時

進行役：花崎攝（演劇デザインギルド）

Vol.3 2012年12月5日(水) 19時~21時

進行役：高尾隆（東京学芸大学准教授）

受講料：1,500円（全3回）

●「SPTワークショップカフェ」 カフェ

SPTワークショップカフェでは、話題提供者のお話（30分程度）をきっかけに、演劇に興味のある人、地域でさまざまな活動をしている人たちなどが、それぞれの立場で抱えている問題を共有したり、立場を超えてどうつながっていけるかを考えていきます。悩みを相談し合いながら、ゆるやかに、そして熱く話し合っていく場です。

Vol.1 世田谷のまちづくりの今とこれから

2012年7月17日(火) 19時半~21時半

話題提供者：市川徹（株）世田谷社代表取締役／まちづくりコーディネーター

Vol.2 哲学カフェと子どものための哲学

2012年8月17日(金) 19時半~21時半

話題提供者：土屋陽介（茨城大学非常勤講師／立教大学兼任講師）

Vol.3 地域における子育て

2012年9月19日(水) 19時半~21時半

話題提供者：小林ゆかり（NPO法人せたがや子育てネット副代表）

Vol.4 地域でのニーズをつなぐ

2012年10月16日(火) 19時半~21時半

話題提供者：鈴木佑輔（世田谷ボランティアセンター）

参加料：各回500円

※内容の詳細は、劇場ホームページ

<http://setagaya-pt.jp/> の「ワークショップ・レクチャー」ページへ!